

会 議 録

- 1 会議の名称 第2回 川根本町高齢者等の運動習慣化による介護予防事業推進委員会
- 2 会議日時 令和8年3月17日（火）午後6時55分～午後8時00分
- 3 開催場所 山村開発センター2階 大会議室
- 4 出席した者の氏名
 - (1) 委員 前田修児委員長、鈴木淳二副委員長、諸田 強委員、
中村 博委員、神東美希委員、中森亮介委員
(欠席) 市川菜穂委員
 - (2) 執行機関（事務局）高齢者福祉課
課長 竹野克彦、
地域包括支援センター長 宮木清美、保健師 馬場衣海
長寿介護室室長 佐々木直人、主幹 長嶋洋介
 - (3) 傍聴 なし
- 5 議題
 - (1) 川根本町高齢者等の運動習慣化による介護予防事業について
 - ア 事業の進捗状況について
 - イ 今後の事業計画等について
 - ウ その他
- 6 会議資料の名称
 - ・第2回川根本町高齢者等の運動習慣化による介護予防事業推進委員会資料
- 7 発言の内容

事務局	<p>(1. 開会)</p> <p>(2. 委員長あいさつ) 前田委員長</p> <p>(3. 議事)</p> <p>(1) 川根本町高齢者等の運動習慣化による介護予防事業について</p> <p>ア 事業の進捗状況について 事務局説明 中村委員補足説明（認知症予防セミナー参加者の状況等） 神東委員補足説明（ウォーキングイベントの実施の状況等） 鈴木副委員長補足説明（スポーツ推進委員の活動等）</p>
-----	---

	<p>質疑応答</p>
委員	<p>医療費適正化分析事業において、女性の医療費が高い傾向にあるようだが、その要因は。</p>
事務局	<p>参加群に医療費が高い女性が多く含まれていた可能性がある。また、男性は医療機関の受診を控える傾向にあり、それらが重なったことが要因と考えられる。</p>
委員	<p>川根本町“元気”ウォークの一般参加者どのように募集したのか。</p>
事務局	<p>昨年11月に募集チラシを新聞折り込みで配布して募集した。</p>
委員	<p>参加者には専用のアプリケーションの歩数ランキングを励みに事業に取り組んでいる例があると聞いた。参加者のモチベーションを持続させるために景品を配付する考えはあるか。</p>
事務局	<p>専用アプリケーションのランキングを毎日楽しみにしているという話は聞いている。なお、モチベーションの維持のためのインセンティブは補助対象外のため、実施の予定はない。</p>
委員	<p>資料によると1日歩数がかかなり少ない参加者がいるが何か原因はあるのか。</p>
事務局	<p>活動量計は、日常的なわずかな動きだとカウントされない場合があるため、すり足歩きや停止を繰り返すなど、歩き方によってはカウントされていないことも考えられる。</p>
	<p>イ 今後の事業計画等について</p>
	<p>事務局説明</p>
委員	<p>今後、参加者を更に50人増やしていく計画であるとのことだが、参加者の年齢要件に変更はないか。</p>
事務局	<p>65歳以上が年齢要件ではあるが、おおむね60歳以上と少し幅を持たせている。</p>
	<p>ウ その他</p>
事務局	<p>今回の委員任期は3月末までだが、次年度も引き続き委員就任を依頼したい。</p>
	<p>(4. 閉会)</p>

上記に相違ないことを確認する。

委員長 前田 修児